

政策目標の設定

- 渥美半島地域の状況と道路交通の課題を踏まえ、防災、農業物流・観光交流、安心な暮らしの観点から、政策目標として、「災害時の信頼性向上による孤立防止と円滑な救援等活動及び支援物資輸送の確保」（最優先課題）、「速達性・定時性の向上による物流支援及び広域観光・地域間交流の促進」、「救急搬送の時間短縮・豊橋市街地との往来の円滑化」を設定し、この達成に必要な一般道ネットワークの構築を図る。

	課 題	原 因	政策目標
① 防災	【最優先課題】 ○南海トラフ地震等の大規模災害時、緊急輸送道路が機能せず孤立可能性 ・津波浸水や液状化等により、緊急輸送道路が機能せず、円滑な救援等の活動や支援物資の輸送が困難となり、半島部、海上輸送監視拠点の長期孤立を招く恐れ	・津波浸水や液状化等により、道路網が寸断する恐れがある	災害時の信頼性向上による孤立防止と円滑な救援等活動及び支援物資輸送の確保
② 農業物流・観光交流	○臨海企業立地部及び農業物流拠点や観光地等から高速道路までのアクセスが悪い ・高速アクセスが悪く、生活交通、耕作車両やサイクリストと、物流車両の混在による速度低下、道路網不足により、速達性が低く生産性向上の障害となっている ・高速道路からのアクセス時間が90分以上と長く、観光地間の連絡性が低い	・生活交通と物流交通の混在により走行性が低下 ・臨海企業による通勤・物流による渋滞 ・高速ICまで90分以上かかり観光地間を回遊しにくい道路網となっている	速達性・定時性の向上による物流支援及び広域観光・地域間交流の促進
③ 安心な暮らし	○救急医療施設までの搬送時間や中核都市との往来に相当な時間を要する ・細長い半島特性により、救急医療施設まで時間がかかり、安心して暮らせない状況。 ・田原市からの生活圏として重要な豊橋市との往復には主要渋滞箇所などを通過する必要がある。	・搬送距離が長いこと、第3次救急医療施設までの所要時間が60分以上の地域が多く、救急医療搬送において速達性が担保されていない ・半島入口部の渋滞	救急搬送の時間短縮・豊橋市街地との往来の円滑化

渥美半島地域の課題と政策目標

防災

大規模災害時、緊急輸送道路が機能せず長期孤立可能性
⇒災害時の信頼性向上による孤立防止と
円滑な救援等活動及び支援物資輸送の確保



日本の経済を支える海運の管制拠点の機能確保
⇒災害時の信頼性向上による孤立防止

海上交通に重要な役割を果たす 伊勢湾海上交通センター



- ・ 輻輳海域における海上交通の安全確保を目的に、24時間365日、船舶の安全運行に必要な情報の提供や航行管制を一元的に実施
- ・ 航路の航行制限・巨大船の航路入港予定の調整や動向監視等を実施



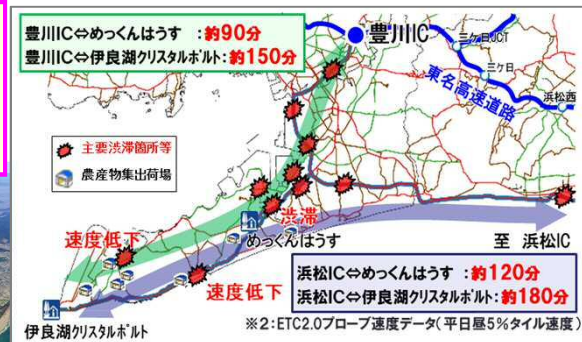
伊勢湾
海上交通センター
2003年7月運用開始

農業 観光

高速道路ICまで90分以上かかりアクセス性が低い
⇒速達性・定時性の向上による物流支援
及び広域観光・地域間交流の促進

- ・ 渥美半島先端は日本の食料安全保障の一翼を担う指定野菜の一大産地。
- ・ 安心して住むことができ農業生産を続けられる対策が必要

渥美半島先端地域

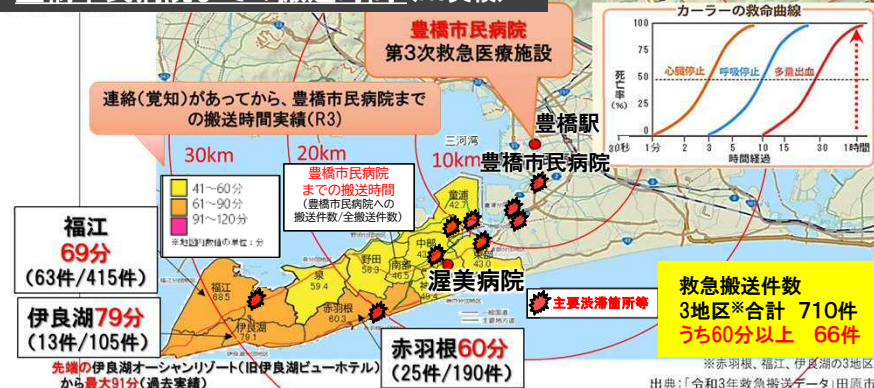


高速ICまで90分以上かかり
観光地間を回遊しにくい
道路網となっている

安心な 暮らし

豊橋市民病院など都市施設への所要時間が60分以上
⇒救急搬送の時間短縮・豊橋市街地との往來の円滑化

豊橋市民病院までの搬送時間 (R3実績)



田原市からの生活圏として重要な豊橋市との往復には
主要渋滞箇所などの通過が必要